国際経営論特講Ⅰ

選択　　2単位

瀬藤　芳哉

1. 授業の概要（ねらい）

　グローバル化の中で企業の海外直接投資、グローバルな生産、販売、マーケティング、研究開発等が一般化している。従来は先進国の大企業がこうした動きの中心にいたが、近年は中小企業も多く、また新興国の企業の国際展開が急速に拡大している。この中で積極的に活躍の場を広げ収益を拡大している企業は多いが、他方で新たな課題・問題に直面し対応を迫られているケースも多い。この授業では、グローバルな展開を行う多国籍企業等の活動に関し、マクロ的な環境、グローバルな事業の現状、直近の国際ビジネスのトピック等を取り上げ、その背景・歴史を学び、企業の課題を考える。授業においては講師の実務経験（国際金融、メーカー等）を踏まえ、具体的な事例を紹介して分かりやすい講義を目指す。授業は、特に学期前半は講義中心とする。授業の進度に応じ、テーマについて受講生に報告してもらい、クラス内で討論するようにしたい。

　なお、受講者の希望や授業の進捗度合い等を踏まえ、内容や日程に変更を加えることがあります。

2. 授業の到達目標

・多国籍企業のグローバルな事業の現状とその背景・歴史を学び、企業の課題を考える。その中で企業の特性と課題を考え、説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

・レポート60%、授業での発表・参加・貢献度40%

4. 教科書・参考文献

教科書
授業内で指定します。参考文献としては以下があります。
参考文献
高橋浩夫　『現代の国際経営戦略』　中央経済社
吉原英樹　『国際経営への招待』　有斐閣ブックス
吉原英樹　『国際経営』　有斐閣アルマ
梶浦雅己編著　『はじめて学ぶ人のためのグローバル・ビジネス（改訂新版）』　文眞堂

5. 準備学修の内容

・教科書の予習。専門用語の意味を理解する。報告レジュメの作成。
・新聞、雑誌、インターネット等で企業の海外活動や多国籍企業の具体事例に触れる。

6. その他履修上の注意事項

・レジュメの作成にあたっては、出来るだけ自分の言葉で、分かりやすくまとめる。必要に応じ、適切な引用を行う（「コピペ」は厳禁）。
・第1回と第5回はLMSによるオンライン授業を予定しています。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション　国際経営の対象　（LMSによるオンライン授業）
【第2回】　ビジネスのグローバル化
【第3回】　国際経営の環境：政治経済
【第4回】　国際経営の環境：文化的環境
【第5回】　国際経営と倫理（CSR）　（LMSによるオンライン授業）
【第6回】　国際経営の歴史
【第7回】　ケーススタディ（日本企業の国際展開）
【第8回】　多国籍企業と国家
【第9回】　通商政策：多国間協定、地域貿易協定
【第10回】　直接投資１
【第11回】　直接投資２
【第12回】　外国市場参入(1)（輸出、ライセンス、他）、事例：ソニー（予定）
【第13回】　外国市場参入(2)（OEM、EMS、他）
【第14回】　ケーススタディ（日本企業、アジア企業）
【第15回】　まとめ　レポートの仕上げ